

【推進本部第7回会合に向けて】

◎「拡大版SDGsアクションプラン2019」について

それぞれの主要施策が具体的にSDGsのどのゴール・ターゲットに対応し、その達成にどう寄与するかを明示できると良いのではないかと。
国内施策へのSDGsのイニシアチブが地方創生以外弱い。現在の日本社会でのSDGsの達成状況、進捗状況等を「見える化」する必要がある。

【実施指針の改訂について】

◎普及・啓発のフェーズを終えて、実行のフェーズへの移行を

2030年までの3分の1の工程をすでに経過しており、具体的に施策を実行していく段階。2030年までのロードマップを策定すべき。
既存施策を並べるのみで終わるのではなく、各ゴール・ターゲットの達成に向け、具体的な政策導入をおこなうべき。（例：貧困率の半減など）

【円卓会議の進め方、今後等】

◎円卓会議が形骸化しているのではないかと

実施指針等の策定作業に円卓会議委員等も参加できるような枠組みが必要。

◎SDGs推進基本法、持続可能な社会推進基本法などを検討すべき

SDGsの達成に向けて政策導入する法的根拠が必要なのではないかと。